

【樹木・草花の部屋】

ハギ（マメ科ハギ属 *Lespedeza bicolor*）

ハギ（萩）とは、マメ科ハギ属の総称。落葉低木。秋の七草のひとつで、花期は7月から10月。背の低い落葉低木ではあるが、木本とは言い難い面もある。茎は木質化して固くなるが、年々太くなって伸びるようなことはなく、根本から新しい芽が毎年出る。直立せず、先端はややしだれる。葉は3出複葉、秋に枝の先端から多数の花枝を出し、赤紫の花の房をつける。果実は種子を1つだけ含み、楕円形で扁平。



写真－1 ハギ

撮影日：2012年7月29日

撮影場所：奈良県馬見丘陵公園にて

写真－2 ハギの葉

撮影日：2012年7月29日

撮影場所：奈良県馬見丘陵公園にて



写真－3 ハギの花

撮影日：2012年7月29日

撮影場所：奈良県馬見丘陵公園にて

【樹木・草花の部屋】



←写真-4 萩に月

撮影日：2011年

9月12日

撮影場所：奈良県広陵町

S邸宅

撮影者：Sさん

ちょっと風情を感じて撮りました。月夜に団子でなく、月夜に花です。

<<ちょっと一言>>

萩の代表的種類は

ヤマハギ（ふつうハギと言えばこれを指す。学名 *bicolor*）

マルバハギ（学名 *Lespedeza cyrtobotrya*）

ミヤギノハギ（学名 *Lespedeza thunbergii*）

万葉集には

「芽子の花 尾花葛花鬘麦の花 女郎花また藤袴 朝貌の花」 山上憶良

萩は、マメ科植物特有の根粒菌との共生のおかげで、痩せた土地でも良く育つ特性がある。この特徴を買われ、古くから道路斜面、治山、砂防など現場で緑化資材として活用されている。

奈良県レッドデータブックによると

萩は

●奈良県選定種目録（6-7/16） 植物【維管束植物】

No.288	マルバヌスビトハギ	<i>Desmodium podocarpum</i>	希少種
No.288	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	絶滅寸前種
No.292	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	絶滅危惧種
No.294	ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i>	絶滅寸前種
No.296	ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i>	絶滅危惧種